

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド EX 市原

調査期間：令和6年11月日～令和6年12月7日 回答職員数： 3名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
み 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		適切な広さが確保されている。また、活動内容によって、スペースを使い分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3		適切な人員配置がされている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	テーブルでラインを引き、遊びの種類により空間を使い分ける等、構造化している。施設入り口や学習室に段差があり、バリアフリーに課題があるが、児童に合わせて対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3		おもちゃや訓練室は消毒や清掃を毎日行う事で清潔な環境を保っている。利用児童の特性に合わせ、学習室や静養室を活用している。
業 務 改 善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3		改善点等をミーティングや支援後に話し合い、改善に努めている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		評価表によりご意見を把握し改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		保護者の評価や自己評価を公表している。評価を踏まえ、必要な改善を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		必要な研修を行っている。
適 切 な 支 援 の へ る	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		アセスメントや、送迎時の聞き取り等でニーズを把握し、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		子どもの支援に必要な項目を選択し、支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		職員同士で話し合って決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		職員同士で話し合いながら活動内容を工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3		子どもの特性に合わせ、集団活動と個別活動を組み合わせる計画を作成している。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		役割り分担をミーティングで確認し、その日の支援を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		支援終了後に気付き等を共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		毎日、個別記録を記入し支援に役立てている。	
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3		定期的にもモニタリングをし、必要な見直しを行っている。	
関係機関や保つ者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3		関係機関との連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		2		現時点では、該当する児童を受け入れているいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		2		現時点では、該当する児童を受け入れているいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			必要な情報の共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			今後、小学校に進級する児童がいる為、適切な情報共有をしていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			他の機関との連携を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			障害のない子どもと活動する機会が少ないため、今後、どのようなことが出来るか検討したい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3			参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			送迎時や電話等で状況を伝え、発達状況等の共有を図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	1		送迎時や電話等で相談に応じている。ペアレントトレーニング等は、今後検討する。
保つ者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時等に、説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			保護者に説明をし、同意を頂いている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			必要に応じ、助言や支援を行っている。

	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		保護者会を行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		日頃から、送迎時や電話で相談に応じている。申し入れがあった場合は迅速かつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		定期的なお便りの発行や、必要に応じた情報発信をしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3		適切に取り扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		適切な配慮をし対応をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	今後の課題である。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		マニュアルを策定・周知し、定期的に訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		マニュアルを策定し、定期的に訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3		見学や契約の時に、保護者に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		保護者と情報の共有をしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		ヒヤリハット報告書の回覧やミーティングで、情報共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		委員会で話し合ったり、虐待防止の研修の機会を持っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		身体拘束を必要とする児童はいないが、重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。